国語2　複数の本や資料を読み、自分の考えをまとめる（運動と食事）

2　相田さんの学級では、健康に過ごすために、複数の文章を選んで読み、自分ができそうなことを考えてまとめることにしました。次は、**【相田さんの考え】**と、相田さんが知りたいことを調べるために選んだ**【資料1】**、**【資料2】**です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【相田さんの考え】

ぼくは、運動の面から考えてみたいな。運動をすると健康にどんないいことがあるのかな。

相田さん

【資料1】運動について書かれた本の一部

運動は、体力の向上につながります。そのため、子供からお年寄りまで適度に運動をすることが大切だと言われています。

私たちが日ごろ行っている運動には、いくつかの種類があります。例えば、体にたくさんの酸素を取り入れながら続けることで持久力を高める運動や、瞬間的に大きな力を出すことで筋肉の力を高める運動などです。

生活の中に自分が好きな運動を取り入れれば、続けて取り組むことができます。その際は、目的に応じた運動を選ぶとともに、健康状態や体力に合わせて自分のペースで行うことが大切です。

【資料2】運動について書かれたパンフレットのページ

運動で健康な体をつくろう！

運動には、筋力や持久力などを高めるほかに、病気への抵抗力を高める効果もあります。また、運動によって気持ちがリフレッシュするなどの効果もあります。

どんな運動をするといいの？

運動をする際、自分に合った運動を選んで行うことが大切です。主な運動の種類には、下のように、軽いジョギングなどの持久力を高める運動や、腹筋運動などの筋力を高める運動があります。そのほかにも、体のやわらかさを高める運動や、たくみな動きを高める運動などがあります。

このような運動は日常生活の中にもあります。例えば、休み時間の外遊び、犬の散歩、階段の上り下り、荷物運びなどです。日常生活の中で体を動かす機会をつくると効果的です。

主に持久力を高める運動の例

軽いジョギング

縄とび（続けてとぶ）

主に筋力を高める運動の例

腹筋運動

腕立てふせ

一　相田さんが選んだ**【資料1】**と**【資料2】**に書かれている内容として最も適切なものを、次の**1**から**4**までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

1　運動の効果や種類
2　運動の回数や場所
3　運動の場所や種類
4　運動の効果や回数

二　相田さんは、**【資料1】**と**【資料2】**を読んで分かったことをメモにまとめています。次の**【相田さんのメモ】**の［　ア　］に当てはまる内容として最も適切なものを、下の**1**から**4**までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

【相田さんのメモ】

◇持久力を高める運動
たくさんの酸素を取り入れながら続ける
・軽いジョギング
・縄とび（続けてとぶ）

［　ア　］

1
◇体のやわらかさを高める運動
しゅん間的に大きな力を出す
・ふっきん運動
・うで立てふせ

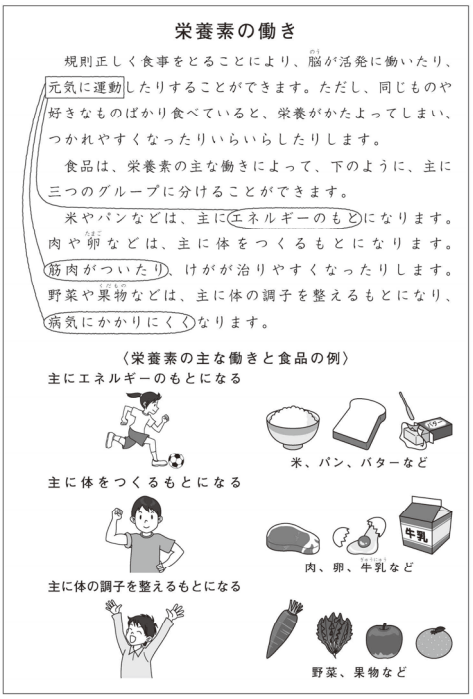
2
◇体のやわらかさを高める運動
しゅん間的に大きな力を出す
・うで立てふせ
・縄とび（続けてとぶ）

3
◇きん力を高める運動
しゅん間的に大きな力を出す
・ふっきん運動
・うで立てふせ

4
◇きん力を高める運動
たくさんの酸素を取り入れながら続ける
・ふっきん運動
・うで立てふせ

三　相田さんは、食事の面から健康について考えている友達の話を聞いて、【資料３】に興味をもちました。次は、相田さんが、四角や丸で囲んだり線でつないだりして整理している【資料３】です。相田さんは、何をどのように整理していますか。その説明として最も適切なものを、あとの１から４までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

【資料３】相田さんが書きこみをしたパンフレットのページ



１　自分にとって分からない言葉を四角や丸で囲み、運動と栄養素の働きとの関係を線でつないで整理している。

２　自分にとって重要な言葉を四角や丸で囲み、食品と栄養素の働きとの関係を線でつないで整理している。

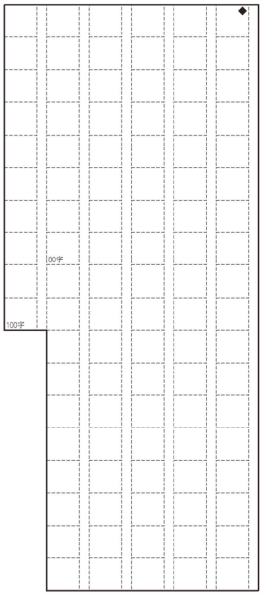
３　自分にとって分からない言葉を四角や丸で囲み、食品と栄養素の働きとの関係を線でつないで整理している。

４　自分にとって重要な言葉を四角や丸で囲み、運動と栄養素の働きとの関係を線でつないで整理している。

四　相田さんは、【資料１】、【資料２】、【資料３】を読み、運動と食事について分かったことをもとに、これから自分ができそうなことを考えてまとめようとしています。**あなたなら**、どのようにまとめますか。その内容を次の条件に合わせて書きましょう。

〈条件〉
- ○　**資料を読んで、運動と食事の両方について分かったことを書くこと。**
- ○　**分かったことをもとに、これから自分ができそうなことを書くこと。**
- ○　**八十字以上、百字以内にまとめて書くこと。**

※左の原稿用紙は下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。解答は、解答用紙に書きましょう。
※◆の印から書きましょう。とちゅうで行を変えないで、続けて書きましょう。



出題の趣旨

目的に応じて必要な情報を見付けたり、情報を関係付けて整理したりして、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる。

文章を読んで自分の考えをまとめる際には、文章の内容や構造を捉え、精査・解釈しながら考えたり理解したりしたことに基づき、既有の知識などと結び付けて自分の考えを形成することが大切である。

本問では、健康に過ごすために、複数の文章を選んで読み、自分ができそうなことを考えてまとめる場面を設定した。相田さんは、本やパンフレットを読んで分かったことをメモにまとめたり、重要だと思う言葉を線でつないで整理したりして、運動と食事について分かったことを基に、これから自分ができそうなことを考えている。ここでは、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることが求められる。また、目的に応じて、中心となる語や文を見付けて要約することや、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けること、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことも求められる。

なお、過去の調査結果で見られた課題と関連する設問は、以下のとおりである。

○　設問**一**は、令和３年度【小学校】国語**2**四（正答率29.9%）において、「目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約すること」に課題が見られたことを踏まえて出題した。

○　設問**二**は、令和３年度【小学校】国語**2**三（正答率34.6%）において、「目的に応じて、文章と図表とを結び付けて必要な情報を見付けること」に課題が見られたことを踏まえて出題した。

また、本調査で初めて取り上げる内容に関する設問は、以下のとおりである。

○　設問**三**では、第５学年及び第６学年の〔知識及び技能〕の⑵情報の扱い方に関する事項「イ　情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと。」を取り上げている。この指導事項は、平成29年告示の小学校学習指導要領で新設されたものであり、本調査で取り上げることも初めてである。

○　設問**四**では、〔思考力、判断力、表現力等〕の「C読むこと」の「考えの形成」に関する指導事項を取り上げている。この指導事項を本調査で取り上げることは初めてである。

■学習指導要領に示されている言語活動例との関連

〔第５学年及び第６学年〕　思考力、判断力、表現力等　C　読むこと

ウ　学校図書館などを利用し、複数の本や新聞などを活用して、調べたり考えたりしたことを報告する活動。

設問一

趣旨

目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約することができるかどうかをみる。

■学習指導要領における内容

〔第３学年及び第４学年〕　思考力、判断力、表現力等　C　読むこと

ウ　目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約すること。

１．解答類型と反応率

問題番号		解答類型		反応率（%）	正答
2	一	1	**1** と解答しているもの	90.1	◎
		2	**2** と解答しているもの	1.4	
		3	**3** と解答しているもの	2.7	
		4	**4** と解答しているもの	4.5	
		99	上記以外の解答	0.1	
		0	無解答	1.2	

２．分析結果と課題

○　令和３年度【小学校】国語2**四**の記述式の問題（正答率29.9%）において、「目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約すること」に課題があると指摘している。これに関連して、本設問では、**【資料１】**と**【資料２】**から中心となる語や文を見付けて要約したものを選択する問題を取り上げた。本設問の正答率は90.1%であった。今回の結果から、目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約したものを選択することについてはできていると考えられる。

○　解答類型４は、運動の効果が書かれていることを捉えることはできているが、運動の種類について書かれていることを捉えることができなかったと考えられる。この中には、文章をよく読まずに、縄跳びを跳んだ回数など自分の経験を基にして考えた児童がいたと考えられる。

３．学習指導に当たって

目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約する

○　学校図書館などを利用し、複数の本や資料などを活用して、調べたり考えたりしたことをまとめる際には、複数の文章の内容を端的に捉える必要がある。そのためには、読む目的を意識して、内容の中心となる語や文を選び、必要な情報を見付けて要約できるようにすることが大切である。

本設問では、相田さんが、「運動をすると健康にどんないいことがあるのか」を考えるために、**【資料１】**と**【資料２】**を読んでいる。この二つの資料には、相田さんが知りたいことに関わる「運動の効果や種類」について書かれていることを捉えることが求められる。

学習指導に当たっては、児童一人一人が、文章を読む目的を明確にしておくことが大切である。その上で、目的に応じて必要な情報を見付けることができるようにする必要がある。その際、ICT 機器を活用し、全文を一覧できるようにした文章について、必要な情報だと考えた語や文にマーカーを引き、視覚的に捉えることができるようにする工夫なども考えられる。また、語や文を選んだ理由について友達と交流し、自分がマーカーを

引いたものを再検討することなども効果的である。
学習指導に当たっては、以下の資料も参考になる。

（参照）
「令和３年度【小学校】報告書」p.39
https://www.nier.go.jp/21chousakekkahoukoku/report/data/21plang.pdf#page=42

設問二

趣旨

目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けることができるかどうかをみる。

■学習指導要領における内容

〔第５学年及び第６学年〕　思考力、判断力、表現力等　C　読むこと
ウ　目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりすること。

１．解答類型と反応率

問題番号		解答類型		反応率（%）	正答
2	二	1	**1** と解答しているもの	4.6	
		2	**2** と解答しているもの	6.2	
		3	**3** と解答しているもの	67.6	◎
		4	**4** と解答しているもの	20.0	
		99	上記以外の解答	0.1	
		0	無解答	1.4	

２．分析結果と課題

○　令和３年度【小学校】国語2三の記述式の問題（正答率34.6%）において、「目的に応じて、文章と図表とを結び付けて必要な情報を見付けること」に課題があると指摘している。これに関連して、本設問では、**【資料１】**と**【資料２】**の文章と図などを結び付けて分かることを選択する問題を取り上げた。本設問の正答率は67.6%であった。今回の結果から、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けることに引き続き課題があると考えられる。

○　解答類型４は、「筋力を高める運動」の例が「腹筋運動」と「腕立てふせ」であることを捉えることはできたが、「筋力を高める運動」が「瞬間的に大きな力を出す」ものであることを捉えることができなかったと考えられる。この中には、**【資料１】**を読まずに**【資料２】**だけを読んで判断してしまい、**【資料１】**と**【資料２】**とを結び付けて必要な情報を見付けることができなかった児童がいたと考えられる。

３．学習指導に当たって

目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付ける

○　文章を読む際には、文章中に用いられている図表などが、文章のどの部分と結び付くのかを明らかにした上で、必要な情報を見付けることができるようにすることが重要である。文章と図表などを結び付けて読むことで、内容についてより深く理解したり解釈したりすることができることを実感できるようにすることが大切である。

本設問では、相田さんは「運動をすると健康にどんないいことがあるのか」を考えるために、複数の文章を読み、分かったことをメモにまとめている。**【資料１】**から、「筋力を高める運動」は「瞬間的に大きな力を出す」ものであること、**【資料２】**から、「筋力を高める運動」の例が「腹筋運動」と「腕立てふせ」であることを、それぞれの資料の文章や図などを結び付けてまとめることが求められる。

学習指導に当たっては、読む目的に応じて、複数の資料を読みながら、必要な情報を見付け、その関係を考えられるようにすることが大切である。その際、文章や図表などで使われている語句で、繰り返し使われている語句や、似たような意味をもつ語句に着目するなどして、読むことができるように指導することが考えられる。

ここでは、複数の資料を読んで分かったことを交流する指導事例を、**「授業アイディア例」**の**「⑤／７　複数の資料を読んで分かったことを交流する」**に示す。

学習指導に当たっては、以下の資料も参考になる。

（参照）

①「令和３年度【小学校】報告書」p.36
https://www.nier.go.jp/21chousakekkahoukoku/report/data/21plang.pdf#page=39

②「令和３年度【小学校】授業アイディア例」pp. 7－8
https://www.nier.go.jp/jugyourei/r03/data/21p.pdf#page=8

設問三

趣旨

情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができるかどうかをみる。

■学習指導要領における内容

〔第５学年及び第６学年〕　知識及び技能

⑵　情報の扱い方に関する事項

イ　情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと。

１．解答類型と反応率

問題番号		解答類型		反応率（%）	正答
2	三	1	１　と解答しているもの	3.3	
		2	２　と解答しているもの	29.6	
		3	３　と解答しているもの	3.2	
		4	４　と解答しているもの	62.2	◎
		99	上記以外の解答	0.1	
		0	無解答	1.6	

２．分析結果と課題

○　本問の正答率は62.2%であった。情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことに課題があると考えられる。

○　解答類型２は、自分にとって重要な言葉を整理していることを捉えることはできたが、運動と栄養素の働きとを関係付けていることを捉えることができなかったと考えられる。この中には、語句と語句を線でつなぐなどの表し方は理解していても、語句の意味や、語句と語句との関係を理解していない児童がいたと考えられる。

３．学習指導に当たって

情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使う

○　情報と情報との関係付けの仕方として、例えば、複雑な事柄などを分解して捉えたり、多様な内容や別々の要素などをまとめたり、類似する点を基にして他のことを類推したり、一定のきまりを基に順序立てて系統化したりすることなどがある。

図などによる語句と語句との関係の表し方とは、複数の語句を丸や四角で囲んだり、語句と語句とを線でつないだりするなど、図示することによって情報を整理することである。図示などにより語句と語句との関係を表すことを通して、考えをより明確なものにしたり、思考をまとめたりすることができることを理解し、そのよさを実感できるようにすることが大切である。

本設問では、運動の面から健康について考えてきた相田さんが、食事の面から健康について考えている友達の話を聞いて、**【資料３】**に興味をもって読み、情報を整理している。相田さんが、自分にとって重要だと考えた言葉を整理していることと、運動と栄養素の働きとを関係付けていることを捉えることが求められる。

学習指導に当たっては、目的に応じて必要だと判断した複数の語句を図示することによって

整理できるようにすることが大切である。その際、児童が知っていたり、これまでの学習で使ったりしたことがある様々な情報の整理の仕方の中から、自分に合った方法を選ぶことができるように指導することが考えられる。必要に応じて、情報の整理の仕方について、一斉に指導を行うことも考えられる。また、〔思考力、判断力、表現力等〕の「C読むこと」の指導事項との関連を図り、指導の効果を高めることが考えられる。

ここでは、情報の整理の仕方について交流する指導事例を、**「授業アイディア例」**の**「④／7　情報の整理の仕方について交流する」**に示す。

設問四

趣旨

文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる。

■学習指導要領における内容

〔第５学年及び第６学年〕　思考力、判断力、表現力等　C　読むこと

オ　文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。

１．解答類型と反応率

問題番号		解答類型		反応率（%）	正答
2	四	（正答の条件） 次の条件を満たして解答している。 ①　資料を読んで分かったことについて、以下のことを書いている。 a　運動について分かったこと b　食事について分かったこと ②　分かったことをもとに、これから自分ができそうなことを書いている。 ③　80字以上、100字以内で書いている。 （正答例） ・　健康に過ごすためには、自分に合った運動をしたり、バランスのよい食事をとったりすることが大切だと分かりました。わたしは、これから、縄とびを続けて持久力を高めたり、苦手な野菜も食べたりしようと思います。(99字)			
		1	条件①a、bの両方と、条件②、③を満たしているもの	56.4	◎
		2	条件①a、bの両方と、条件②は満たしているが、条件③は満たしていないもの	0.9	
		3	条件①a、bの両方は満たしているが、条件②は満たしていないもの ＊条件③を満たしているかどうかは不問とする。	4.3	
		4	条件①a、②は満たしているが、条件①bは満たしていないもの ＊条件③を満たしているかどうかは不問とする。	10.2	
		5	条件①b、②は満たしているが、条件①aは満たしていないもの ＊条件③を満たしているかどうかは不問とする。	12.1	
		6	条件①aは満たしているが、条件①b、②は満たしていないもの ＊条件③を満たしているかどうかは不問とする。	1.7	
		7	条件①bは満たしているが、条件①a、②は満たしていないもの ＊条件③を満たしているかどうかは不問とする。	1.2	
		8	条件②は満たしているが、条件①a、bは共に満たしていないもの ＊条件③を満たしているかどうかは不問とする。	2.7	
		99	上記以外の解答	2.1	
		0	無解答	8.4	

２．分析結果と課題

○　本問の正答率は56.4％であった。文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることに課題があると考えられる。

○　解答類型１の具体的な例としては、以下のようなものがある。

（例）
- 運動には体力を高める効果があり、元気に運動するためには規則正しく食事をとることが大切だと分かりました。だから、ぼくは、規則正しい食事を心がけ、休み時間に元気に遊ぶなどして健康に過ごしたいと思います。(99字)
- わたしは、健康のために、毎日体を動かし、野菜やくだものを食べるようにします。なぜなら、運動には病気へのていこう力を高める効果があり、野菜やくだものは、体の調子を整えるもとになることが分かったからです。(100字)

このように解答した児童は、運動と食事の両方について分かったことと、分かったことを基に、これから自分ができそうなことを書いている。この中には、分かったことと考えたことのつながりが分かるように、理由を示す表現などを用いるなどしてまとめている解答が見られた。健康に過ごすために自分ができそうなことを考えるという読む目的を意識し、複数の本や資料に書かれていることを比較したり関係付けたりしながら、分かったことと考えたことをまとめることができた児童がいたと考えられる。

○　解答類型４と解答類型５の反応率の合計は、22.3％であった。他の解答類型に比べて、解答類型４と５の反応率が高かった。解答類型４と５は、自分ができそうなことは書いているが、資料を読んで分かったことについて、運動と食事のいずれかしか書いていないものである。これらの中には、健康に過ごすために自分ができそうなことを考えるという読む目的を意識することはできていても、複数の本や資料に書かれていることを比較したり関連付けたりして考えることができなかった児童がいたと考えられる。

○　解答類型４の具体的な例としては、以下のようなものがある。

（例）
- 運動には、持久力やきん力を高めたり、病気へのていこう力を高めたりする効果があり、縄とびや腹きんなど、自分に合った運動をすることが大切だと分かりました。ぼくは、これから腹きんをしてきん力を高めたいです。(100字)
- 運動にはいくつかの種類があり、好きな運動を取り入れれば続けて取り組むことができます。食事も好きなものを選んで食べることが大切です。だから、わたしは、好きなジョギングを取り入れて運動を続けたいです。(98字)

このように解答した児童は、運動について分かったことと、分かったことを基に、これから自分ができそうなことを書いている。しかし、食事について分かったことは書いていない。この中には、食事について分かったことを取り上げなかった児童がいたと考えられる。また、食事について分かったことを取り上げようとしたが適切に取り上げることができなかった児童もいたと考えられる。

○　解答類型５の具体的な例としては、以下のようなものがある。

（例）
- 好きなものばかり食べると、栄養がかたよってしまい、つかれやすくなるので、バランスよく食べることが大切だと分かりました。だから、わたしは、これからも、お米やお肉や野菜をバランスよく食べていきたいです。(99字)
- ジョギングをするときん力を高めることができ、肉やたまごを食べると体をつくるもとになってきん肉がつくことが分かりました。ぼくは、きん肉をつけたいので、ジョギングをしたり肉やたまごを食べたりします。(97字)

このように解答した児童は、食事について分かったことと、分かったことを基に、これから自分ができそうなことを書いている。しかし、運動について分かったことは書いていない。この中には、運動について分かったことを取り上げなかった児童がいたと考えられる。また、運動について分かったことを取り上げようとしたが適切に取り上げることができなかった児童もいたと考えられる。

○　解答類型３、解答類型６、解答類型７の反応率の合計は7.2%であった。これらは、文章を読んで分かったことについては何か書いているが、分かったことを基に、これから自分ができそうなことを書いていないものである。これらの中には、健康に過ごすために自分ができそうなことを考えるという読む目的を意識することができなかった児童がいたと考えられる。中には、複数の本や資料を読むことに時間がかかってしまい、書かれている内容を捉えることが難しかった児童もいたと考えられる。また、文章を読んで分かったことと既有の知識や体験などとを結び付けて、自分ができそうなことを考えることができなかった児童もいたと考えられる。さらに、分かったことや考えたことが漠然としていて他者に分かるようにまとめることができなかった児童もいたと考えられる。

３．学習指導に当たって

文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめる

○　文章を読んで自分の考えをまとめるためには、文章の内容や構造を捉え、精査・解釈しながら考えたり理解したりしたことに基づき、既有の知識などと結び付けて自分の考えを形成することが重要である。そのためには、文章を読んで理解したことと、自分の考えとの関係を意識してまとめることができるように指導することが大切である。また、複数の文章を読むなどして、文章をよく理解したり、自分の考えを広げたりすることができるように指導することも大切である。

本設問では、複数の本や資料を選んで読み、健康に過ごすために、運動と食事の面から、これから自分ができそうなことを考えようとしている。**【資料１】**、**【資料２】**、**【資料３】**を読み、運動と食事の両方について分かったことと、分かったことを基にこれから自分ができそうなことについて考えをまとめることが求められる。

学習指導に当たっては、複数の本や資料を読んで分かったことを整理したり、分かったことの中から既有の知識や体験などに結び付くものを考えたりしながら自分の考えをまとめるようにすることが大切である。

児童によっては、複数の本や資料を読むことに時間がかかってしまい、書かれている内容を捉えることが難しい場合が考えられる。そのような場合には、〔思考力、判断力、表現力等〕の「構造と内容の把握」に関する指導事項や、〔知識及び技能〕の「音読」に関する指導事項と関連させ、声に出して読むことで書かれている内容を大づかみに捉えることができるようにしたり、教師が一緒に読んで児童の理解を助けたりして指導すると効果的である。

複数の本や資料に書かれていることを比較したり関連付けたりして考えることができない場合も考えられる。そのような場合には、まず、読む目的を意識することを促し、複数の本や資料に書かれていることを比較したり関連付けたりして考えた方が、文章をよく理解したり、自分の考えを広げたりすることにつながることを実感できるようにすることが大切である。その上で、本問の設問二や設問三で取り上げたように、〔思考力、判断力、表現力等〕の「精査・解釈」に関する指導事項や、〔知識及び技能〕の⑵情報の扱い方に関する事項「イ　情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと。」と関連させて、複数の情報を関連付けて読むことができるように指導すると効果的である。

文章を読んで理解したことと既有の知識や体験などとを結び付けて考えることができない場合も考えられる。そのような場合には、読む目的を意識することを促し、文章を読んで理解したことの中に、自分が既にもっている知識や実際の経験と結び付くことはないかを考えながら読むことを指導すると効果的である。

文章を読んで理解したことや考えたことが漠然としていて、他者に分かるようにまとめることができない場合も考えられる。そのような場合には、第３学年及び第４学年の〔知識及び技能〕の⑵「情報の扱い方に関する事項」の「情報と情報との関係」に関する指導事項（「考えとそれを支える理由や事例」）や、第５学年及び第６学年の〔知識及び技能〕の⑴「言葉の特徴や使い方に関する事項」の「語彙」に関する指導事項（「思考に関わる語句」）と関連させ、理解したことと考えたことの関係が分かるようにまとめることを指導すると効果的である。

ここでは、自分の資料や交流したことを基にして、自分の考えをまとめる指導事例を、**「授業アイディア例」**の**「⑥／７　資料を読んで分かったことに基づいて、自分の考えをまとめる」**に示す。なお、**「授業アイディア例」**における児童の反応例については、解答類型１に該当する例を**「相田さん」**、解答類型４・５に該当する例を**「岡本さん」**、解答類型３・６・７に該当する例を**「石崎さん」**として示している。

本問全体の学習指導に当たって
授業アイディア例

「健康に過ごすために、複数の本や資料を読み、自分ができそうなことをまとめよう」 ～目的に応じて必要な情報を見付けたり、情報を関係付けて整理したりして、 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめる～	〈実施対象学年〉 第５・６学年

文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることに課題が見られました。そこで、本授業アイディア例では、令和５年度全国学力・学習状況調査【小学校】国語2で取り上げた【資料１】から【資料３】までを活用した指導事例を学習の流れに沿って紹介します。

◇　教師は、年間指導計画等を基に、本単元で重点的に取り上げる指導事項を明確にし、児童の実態を踏まえながら、学習の流れを想定します。

教師

この単元では、〔思考力、判断力、表現力等〕の「C読むこと」の「考えの形成」に関する指導事項を重点的に取り上げ、定着を図ることにしよう。

児童一人一人が、文章を読んで理解したことについて、既有の知識などと結び付けて自分の考えをもてるようにするために、課題は身近な「健康」にしよう。この単元で身に付けさせたい力は自分の考えを形成することだから、「健康について、複数の本や資料を読んで、考えたことをまとめる」という言語活動がふさわしいな。そうすると、単元の流れは次のようになりそうだな。

時間	学習の流れ	指導事項	学習の形態
①	・学習の見通しをもつ。		学級全体で
② ③	・どのような面から健康について考えたいか決め、資料を探す。 ・気になるところに付箋や印を付けて、自分が知りたいことを詳しく調べる。	精査・解釈 （中学年）	一人で グループで
④ ⑤	・情報の整理の仕方について交流する。 ・複数の資料を読んで分かったことを交流する。	精査・解釈 （高学年） 情報の整理	一人で グループで
⑥	・資料を読んで分かったことに基づいて、自分の考えをまとめる。	◎考えの形成	一人で
⑦	・まとめた文章を友達と読み合い、単元全体を振り返る。	共有	グループで 学級全体で

学習の流れは固まったけれど、児童の中には、主に⑤の「複数の資料を読んで分かったことを交流する場面」でつまずく子（岡本さん）や⑥の「資料を読んで分かったことに基づいて、自分の考えをまとめる場面」でつまずく子（石崎さん）がいそうだな。こうした児童に合う手立てを考えておく必要があるな。

ポイント

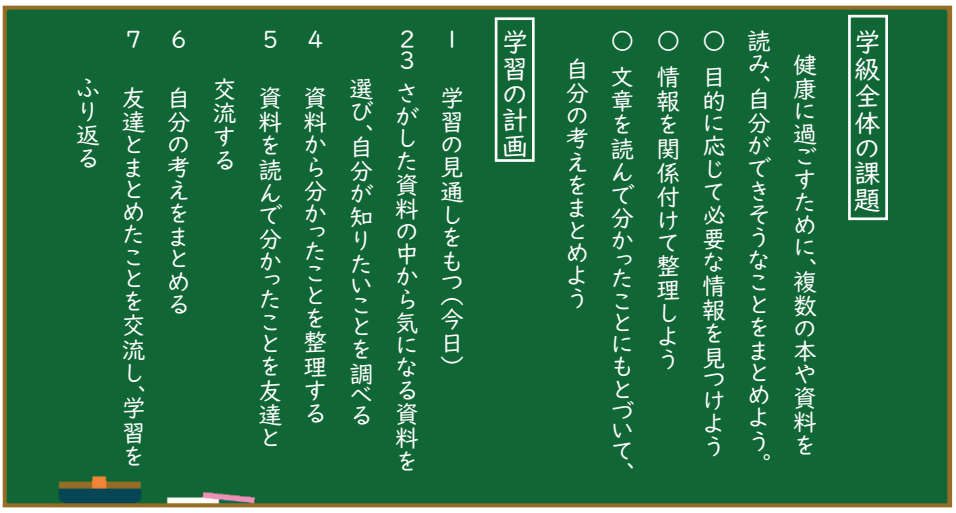
○　児童一人一人の読む目的などによって、学習の進め方が異なることが予想されます。そのため、学級全体で共通して指導することと、児童一人一人の状況に応じて個別に指導することをあらかじめ想定しておくことが大切です。

○　重点とする指導事項は「考えの形成」ですが、児童の実態によっては、〔思考力、判断力、表現力等〕の「構造と内容の把握」や「精査・解釈」、〔知識及び技能〕の「情報の整理」に関する指導事項の定着も図ることができるように、手立てを講じておくことが大切です。

①／７	学習の見通しをもつ

◇　ここでは、目的に応じて必要な情報を見付けたり、複数の情報を関係付けて整理したりして、文章を読んで分かったことに基づいて、自分の考えをまとめることができるように、「健康に過ごすために、複数の本や資料を読み、自分ができそうなことをまとめる」という学級全体の課題を設定します。

◇　設定した課題を基に、児童が見通しをもつことができるようにします。一人で調べたり考えたりする場面、グループや学級全体で話し合う場面を設定することで、児童が自分の興味・関心を踏まえて再考したり、必要な情報を再度集めたりすることができるようにします。



◇　相田さんたちは、学級全体の課題に基づいて、自分がどのような面から健康について考えるのかを決め、学習の見通しをもちます。

教師：健康に過ごすために、自分はどのような面から考えたいですか。

相田さん：運動の面から考えてみたいです。運動すると健康にどのようないいことがあるのか知りたいからです。図書館に行って、運動について書いてある資料を探してみようと思います。

岡本さん：家庭科で学習した食事の面から考えてみようと思っています。栄養士さんに相談して、よい資料がないか聞いてみます。

石崎さん：どのような面から考えればいいのか、まだ決められていません。健康に関わる資料を探しながら考えたいです。

ポイント

岡本さんのように、既有の知識と結び付けて考えようとする児童や、**石崎さん**のように、どのような面から考えるか決めることができない児童がいることが想定されます。特に、**石崎さん**のような児童には、課題について改めて考え、読む目的を意識できるように指導すると効果的です。その際、課題と関連付けて自分の生活を振り返るよう促したり、養護教諭などにインタビューする機会を設けたりすることが考えられます。児童の主体性を大切にし、課題についてどのような面から考えるかを、自分で決めることができるようにすることは、自分の考えをもち、まとめようとする意欲にもつながります。

④／７	情報の整理の仕方について交流する

◇　相田さんたちは、自分の興味・関心などに応じて、運動の面や食事の面など、一人一人違う面から本や資料などを探して読み、分かったことを整理しています。

教師

友達がどのような面から読んでいるのか、資料を持ち寄って交流してみましょう。紹介し合う際に、友達がどのように情報を整理しながら読んでいるかについても交流できると新しい発見があるかもしれませんね。

相田さん

運動の種類について情報を集めているから、それに関係する大事な言葉を四角で囲んで、線で結んだよ。そうしたら、「運動の種類」が四つあることが分かったよ。

相田さんが書きこんだ【資料2】

運動で健康な体をつくろう！

どんな運動をするといいの？
　運動をする際、自分に合った運動を選んで行うことが大切です。
　主な運動の種類には、下のように軽いジョギングなどの持久力を高める運動や、腹筋運動などの筋力を高める運動があります。そのほかにも、体のやわらかさを高める運動や、たくみな動きを高める運動などがあります。

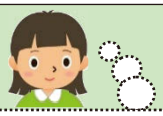
岡本さんの資料は、「運動」の面からも読めそうだな。パンフレットを貸してもらおう。

岡本さん

食事の面から読んでいるよ。大事な言葉を抜き出して、メモに整理したら、バランスよく栄養をとることが大切だと分かったよ。

【資料3】を読んで岡本さんが書いたメモ

「栄養素の働き」を読んで
① 同じもの、好きなものばかり食べる
　↓栄養がかたよる
　↓つかれやすくなる
　↓いらいらする
② 栄養素の主な働き
・米やパン＝エネルギーのもと
・肉やたまご＝けがが治りやすくなる
・野菜やくだもの＝病気にかかりにくくなる



メモの方が整理しやすかったな。でも、相田さんや石崎さんのように図で整理する方法もあるんだな。
　石崎さんのように色分けするのもいいアイディアだね。

石崎さん

運動が大切だと分かるところに、線を引いたんだけど、線が多くてどこが大事なのか分からなくなってしまったよ。

そうか、相田さんみたいに、線を引いた文の中から更に大事な言葉を見付けて整理してみるといいんだね。「運動」を赤で囲んでみるね。

でも、このままでは、どの語句が大事か分からないなあ。

どのように運動するとよいかが書かれているところを青で囲んでみるといいよ。

石崎さんが書きこんだ【資料1】

運動は、体力の向上につながります。そのため、子供からお年寄りまで適度に運動をすることが大切だと言われています。
＝＝＝＝＝中略＝＝＝＝＝
生活の中に自分が好きな運動を取り入れれば、続けて取り組むことができます。その際は、目的に応じた運動を選ぶとともに、健康状態や体力に合わせて自分のペースで行うことが大切です。

似ているような意味で繰り返し出てくる言葉は大事なんだな。大事な言葉をはっきりさせたり、言葉と言葉の関係を整理したりするといいんだな。次の資料でもやってみよう。岡本さんみたいに大事な言葉を抜き出してメモにまとめる方法もやってみたいな。

ポイント

　児童が自分の目的に合った情報の整理の仕方を選ぶことができるようにすることが大切です。
　また、複数の情報を整理することで、考えをより明確なものにしたり、思考をまとめたりすることができることを理解し、そのよさを実感できるように指導することが大切です。

⑤／７	複数の資料を読んで分かったことを交流する

◇　相田さんたちは、複数の本や資料を読んで分かったことを交流しています。

教師：前回は自分の資料を読んだり、友達と交流して、友達の資料を読んだりしましたね。今日の学習について、それぞれ取り組むことを確認しましょう。

相田さん：前回石崎さんや岡本さんに見せてもらった資料にも運動について書いてあったので、もう一度、自分の資料と関係付けて読んでみようと思います。

岡本さん：【資料3】に知りたいことが書いてあったから、もう書けそうです。病気にならないために、好ききらいをせず、バランスよく食事をすることを書こうと思います。

石崎さん：【資料1】から、「生活の中に自分が好きな運動を取り入れれば、続けて取り組むことができる」と分かりました。
他の資料には、同じ言葉が出てこないので、関連する情報はないと思います。

自ら他の資料にも興味を広げて読めそうだな。しばらく、見守ろう。

一つの資料で完結してしまいそうだ。他の資料にも興味が広げられるように、友達とつなげよう。

複数の資料を集められたけれど、【資料1】と【資料2】を関係付けて読むことが難しいみたいだ。一緒に資料を読んで、個別に指導しよう。

岡本さんは、「病気にならない体づくり」について知るために読んでいるそうです。誰か関係しそうな資料を持っている人はいませんか？

【資料2】には食事のことは書いていないけれど、「病気」という言葉があるよ。岡本さんの知りたい情報があるかもしれないよ。

そうか、病気にならないために、食事以外の面からも考えてみるといいのか。
相田さん、資料を貸してくれる？

岡本さんは、相田さんから資料を借りて読み始めたので、しばらく様子を見よう。その間に石崎さんが資料を関係付けて読むのを支援しよう。

石崎さん、一緒に資料を読んでみよう。【資料1】に「自分の好きな運動」とあるけど、石崎さんにとっては【資料2】のどの運動に当たるかな？

【資料2】の縄跳びです。

縄跳びだと続けられそうなんだね。では、【資料1】と【資料2】に、似ている意味の言葉はあるかな？

【資料1】の「生活の中に」と、【資料2】の「日常生活の中に」は同じような意味だと思います。

そうだね。そうしたら、生活の中に取り入れる方法が【資料2】に書かれているのかな？

「休み時間の外遊び」などがそうだと思います。【資料1】だけだと分からなかったことが、【資料2】とあわせて読むことで詳しく分かりました。相田さんや岡本さんの考えも聞いてみます。

ポイント

教師は、児童一人一人の学習の状況を把握し、その状況に応じて適切に指導をすることが大切です。例えば、必要な資料を持っている他の児童と資料を読み合うように促したり、着目するとよい言葉を示して児童と共に資料を読んだりすることなどの指導が考えられます。

⑥／７	資料を読んで分かったことに基づいて、自分の考えをまとめる

◇　相田さんたちは、本や資料などを読んで分かったことや、友達と交流して考えたことを基にして、健康に過ごすために自分ができそうなことをまとめています。

教師

今日は、自分が選んだいくつかの資料を読んで分かったことを基に、これから自分ができそうなことを考えてまとめます。困った時は、先生に相談してください。

相田さん

【資料１】と【資料2】、【資料3】から、健康に過ごすためには、自分に合った運動、バランスのよい食事、運動と食事が両方とも大事だということが分かったとまとめよう。

相田さんは、三つの資料から運動と食事の二つの面で大切なことが分かったのですね。あとは、自分にできそうなことを決められるといいね。

走るのが好きだから、毎日、目標を決めてジョギングを続けようと思います。それから、苦手な野菜もあるから、少しずつ食べられるようにしたいです。

岡本さん

【資料2】と【資料3】を使おう。自分には、好きなものばかり食べてしまうところがあるなあ。このままだと、疲れやすくなるから、バランスよく食べるようにするとまとめよう。

岡本さんは、自分の苦手なことに着目して考えていますね。資料から分かったこととつながりをもたせると、更に考えを深められそうですね。栄養素の働きをもう一度読んでみるとよさそうだね。

二つの資料には、病気の予防や運動のことが共通して書いてありました。自分にできそうなことをもう少し考えてみます。

石崎さん

【資料１】と【資料2】を使おう。日常生活の中で自分が好きな運動を自分のペースで取り組むとよいというのは分かるのだけど…。

先生。この後、どのようにまとめたらいいか分からなくて困っています。

石崎さんは、資料から分かったことがまとめられていますね。次は、分かったことを基に自分ができそうなことを考えよう。資料にはたくさんの情報があったけれど、どうして「自分のペース」という言葉を四角で囲んだの？

続けることが苦手だけど自分のペースならできそうかなと思ったからです。

なるほど。石崎さんだったら「自分のペース」で何ができそうかな。

自分だったら、週2、3回くらい好きな縄跳びを続けられそうです。しかも、休み時間にできそうです。

「自分だったら」という考え方がいいね。分かったことの後にそれを加えるようにして、まとめてみよう。「だから」、「～ので」などの言葉を使うと、資料から分かったことと、資料を基に考えたことをつなぐことができるね。

ポイント

○　文章を読んで理解したことと既有の知識や体験などとを結び付けて考えていることを認め、価値付けることが大切です。

○　理解したことと既有の知識や体験などとを結び付けて考えることが難しい児童には、着目した語句を確かめたり、その語句に着目した理由を問いかけたりして自分の考えを表現できるように指導すると効果的です。

○　考えをまとめることが難しい児童には、「だから」、「～ので」など情報と情報との関係を表す語句や「思う」、「考える」のように思考そのものに関わる語句を例示するなど、〔知識及び技能〕の(1)「言葉の特徴や使い方に関する事項」と関連させて、考えをまとめることができるように指導すると効果的です。

※出典等

川畑徹朗『生活と健康といのち（考えよう あなたの健康といのち 全５巻④)』(1998年３月　学習研究社)、厚生労働省・農林水産省「食事バランスガイド」(2005年６月）などを参考にした。